

卒業生に関するアンケート調査 結果報告

令和5年11月
広島文化学園短期大学
就職・キャリア支援センター

1 調査目的

卒業生就職先の企業等へ「求める人材の要件」等の調査を行い、教育の効果及び学生が修得した学修の成果等を把握し、その結果を本学の教育内容にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

2 調査期間

令和5年9月

3 調査対象

令和5年3月卒業生が就職した企業等

4 調査方法

自記式の調査用紙（記名式）

5 回答率

回答数	依頼数	回答率
57	144	39.6%

6 調査内容

- (1) 事業内容
- (2) 採用の際の重視度（3項目選択）
- (3) 卒業生の資質（5段階評価）
- (4) 改善すべき事項（自由記述）
- (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）
- (6) 本学の教育についての意見（自由記述）

7 調査結果

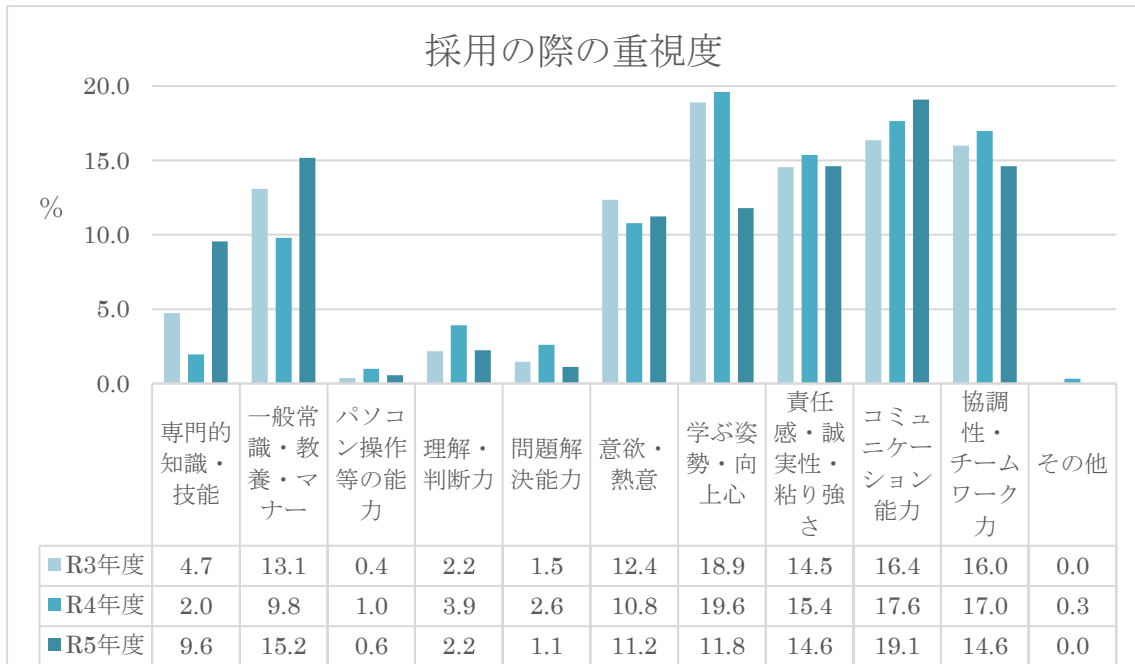
(1) 事業内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	3	1			7			6	2	7	21	1	9

- ①建設 ②製造 ③電気・ガス ④情報通信 ⑤運輸・郵便 ⑥卸売・小売
⑦金融・保険 ⑧不動産・賃貸 ⑨宿泊・飲食 ⑩娯楽 ⑪教育・学習支援
⑫医療・福祉 ⑬複合サービス ⑭その他

(2) 採用の際の重視度（3項目選択）

企業が採用時に重視度の高い評価項目は「一般常識・教養・マナー」「意欲・熱意」「学ぶ姿勢・向上心」「責任感・誠実性・粘り強さ」「コミュニケーション能力」「協調性・チームワーク力」であり、令和3年度と令和4年度も同様である。

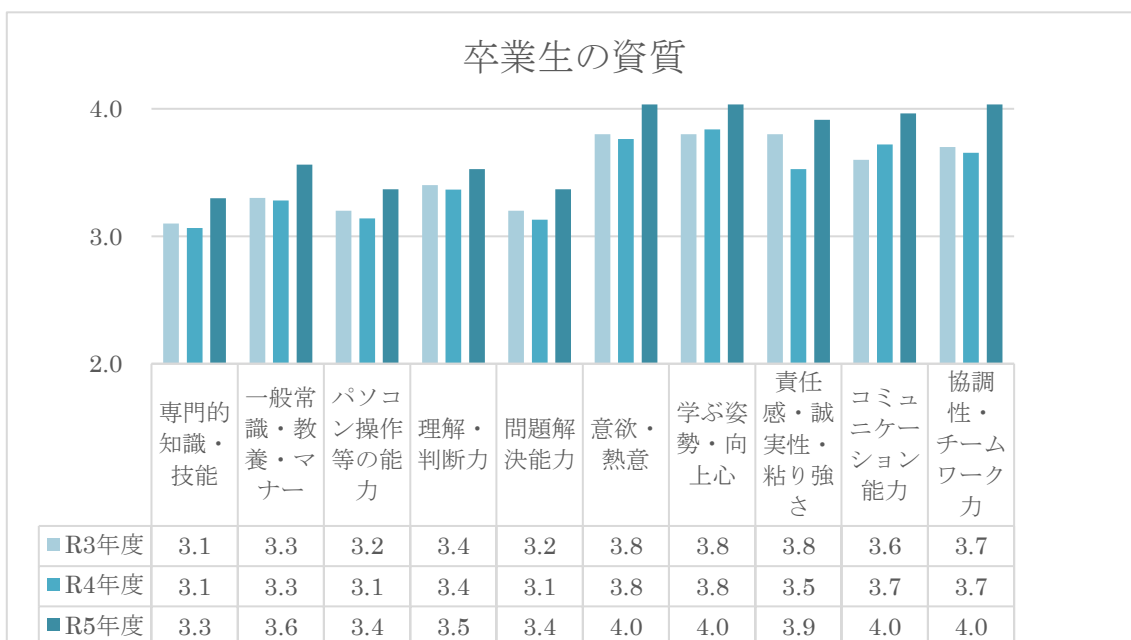


(3) 卒業生の資質（5段階評価）

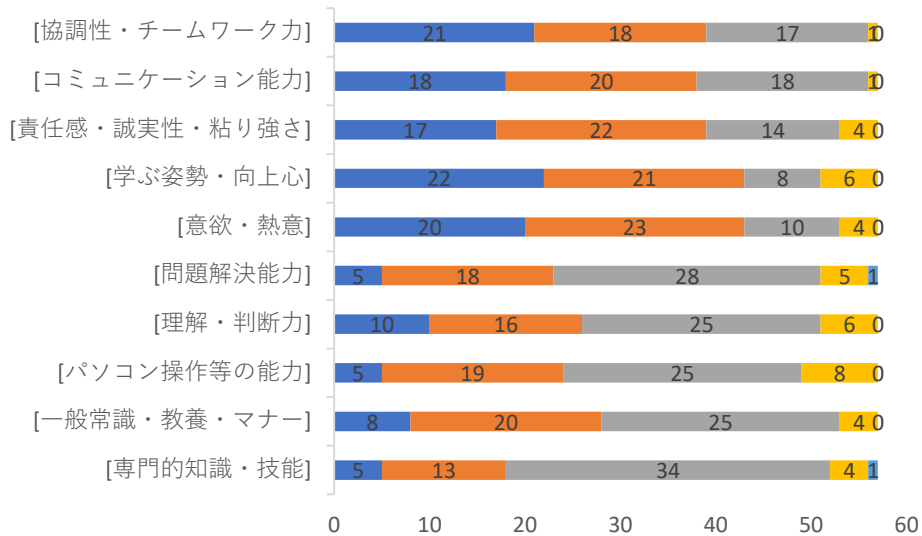
卒業生の資質についての評価結果は5段階評価で3.3から4.0である。

評価の高い項目（3.5以上）は「一般常識・教養・マナー」「理解・判断力」「意欲・熱意」「学ぶ姿勢・向上心」「責任感・誠実性・粘り強さ」「コミュニケーション能力」「協調性・チームワーク力」である。

逆に評価の低い項目（3.4以下）は「専門的知識・技能」「パソコン操作等の能力」「問題解決能力」であるが、令和3年度と比較して全ての項目の評価が高くなっている。



令和5年度 短期大学



	[専門的知識・技能]	[一般常識・教養・マナー]	[パソコン操作等の能力]	[理解・判断力]	[問題解決能力]	[意欲・熱意]	[学ぶ姿勢・向上心]	[責任感・誠実性・粘り強さ]	[コミュニケーション能力]	[協調性・チームワーク力]
■ 5	5	8	5	10	5	20	22	17	18	21
■ 4	13	20	19	16	18	23	21	22	20	18
■ 3	34	25	25	25	28	10	8	14	18	17
■ 2	4	4	8	6	5	4	6	4	1	1
■ 1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

(4) 改善すべき事項（自由記述）

「遅刻や欠勤もなく仕事に真面目である」「前向きで向上心がある」「仕事に対して真摯に向き合っている」等、肯定的な評価を多く受けた。

しかし、一方では改善すべき事項として次のとおり意見をいただいた。

① 一般常識・教養・マナーに関すること

「社会人としての自覚、マナー、一般常識を身に付けて欲しい」等

② 問題解決能力に関すること

「もう少し早い行動が必要」等

③ 意欲・熱意に関すること

「もう少し元気で大きな声が必要」等

④ 学ぶ姿勢・向上心に関すること

「積極的に学ぼうとする姿勢が必要」等

(5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）

「熱心に教育されている」「コミュニケーション能力に優れた学生を育成している」等、肯定的意見もあるが、その一方で「現場で実践できるような内容」「社会人としてのマナー」「一般的な社会人としての準備」等、社会に出るための心構え等について更なる改善が望まれるとの意見をいただいた。